



平成16年8月3日

各 位

会社名 株式会社メディビック
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 太田雅敏
(Tel: 03-5510-2407)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成16年2月6日の決算発表時に公表した平成16年12月期(平成16年1月1日~平成16年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年12月期中間業績予想数値の修正(平成16年1月1日~平成16年6月30日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	331	2	1
今回修正予想(B)	130	262	233
増減額(B-A)	200	265	235
増減率(%)	60.5	-	-
(ご参考)前年実績(平成15年12月期)	246	40	40

2. 平成16年12月期通期業績予想数値の修正(平成16年1月1日~平成16年12月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	747	31	29
今回修正予想(B)	585	339	334
増減額(B-A)	162	370	363
増減率(%)	21.7	-	-
(ご参考)前年実績(平成15年12月期)	484	22	20

3. 平成16年12月期通期連結業績予想(平成16年1月1日~平成16年12月31日)
(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	779	216	291

4. 修正の理由

当中間期のコンサルティング事業においては、プロジェクト数も増加し、比較的堅調に推移しております。

一方、インフォマティクス事業では、既存プラットフォーム製品の技術のアップグレードや新規プラットフォーム技術の開発完了に伴い新規製品の開発計画が具現化し、下半期に向けてマーケットプロモーションを予定したため、当中間期の営業活動を抑制し積極的な既存製品の販売を差し控えました。従来では3種類の遺伝子解析を中心とした情報処理プラットフォーム技術のみ提供してきましたが、下半期より、従来製品のアップグレード、あるいは新規に開発を進めてきました医薬品候補化合物分析を行う情報処理プラットフォーム技術など10種類近くに及ぶ技術を提供できる体制を整えました。

以上、下半期に向けての準備に業務活動を費やした結果、当初業績予想を大きく下回る結果となりました。

また、上記に加え、期首当初の年間予算を上まわる研究開発投資を実施した結果、当中間期で既に研究開発費155百万円を計上しております。

結果、中間期におきましては、売上高予想331百万円に対し、売上高は130百万円となり、経常利益予想2百万円に対し、経常利益は 262百万円、中間純利益予想1百万円に対し、中間純利益は 233百万円となる見込みであります。

通期におきましても、売上高予想747百万円に対し、売上高は585百万円を見込み、経費面で研究開発費等の見直しを行ないました結果、経常利益予想31百万円に対し、経常利益は 339百万円、当期純利益予想29百万円に対し、当期純利益は 334百万円の見込みとなりましたので、予想を修正いたします。

以上の理由も加えて、関係会社の業容拡大のため、当中間期より、100%出資の株式会社メディビック・アライアンスが連結対象子会社となり、また、下半期も連結対象子会社が増加する見込みでありますので、通期連結業績予想をあわせて発表いたします。

連結対象子会社の売上高や利益を取り込むと、通期連結売上予想では 779 百万円、経常利益 216 百万円、当期純利益 291 百万円となります。

(注)本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上